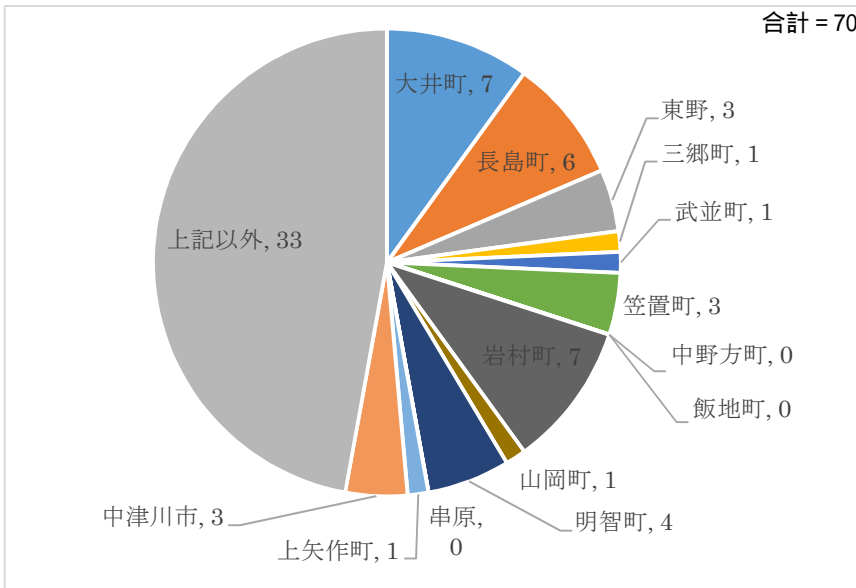
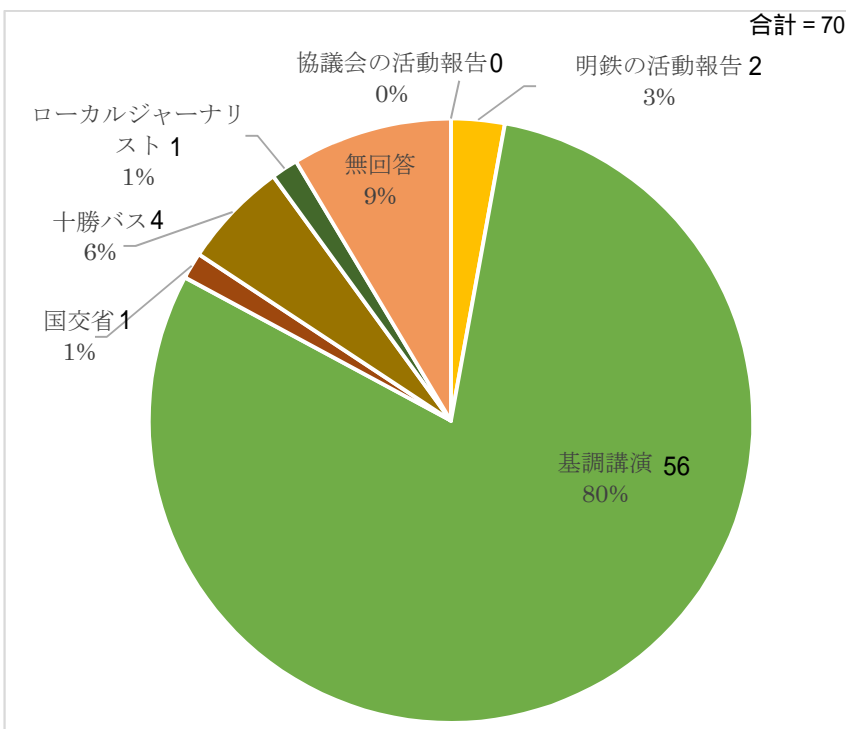


明知鉄道沿線地域公共交通シンポジウム2022 アンケート結果

【質問1】お住まいの地域を教えてください



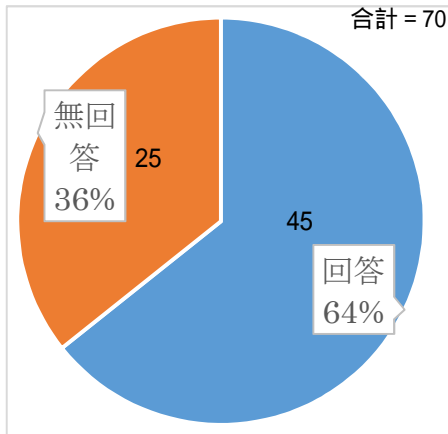
【質問2】一番印象に残った活動報告等は何ですか。



主な理由

- ・コンパクトシティの必要性が良く分かった。
- ・コンパクトシティの必要性が良く分かった。公共交通を単体で考えるのではなく、まちづくり、福祉、財政まで総合的に与えることが大きいことを改めて認識した。
- ・人口減少を食い止めるため、いかに公共交通を充実させることが大事と感じた。
- ・不公平な投資など、今までの自分の考えになかった点が良かった。
- ・都市計画と公共交通を一体的にとらえるべきという考えが非常に共感できた。
- ・地域交通の成功例である富山市のあり方が良く理解できた。

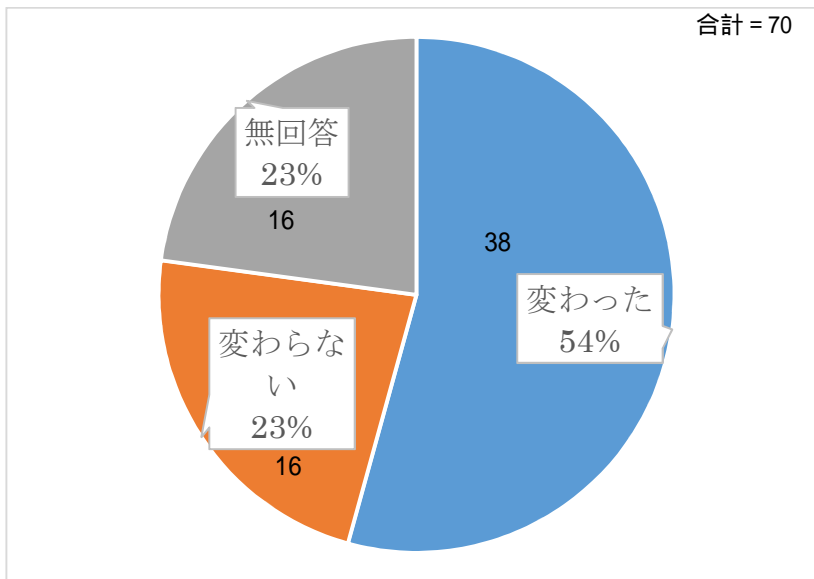
【質問3】 持続可能な公共交通の実現に向けて自分は何をすべきか。



主な内容

- ・おでかけ 10 回の内 1 回は公共交通を利用する。
- ・交通事業者として、地域の利便性・発展を考えた施策を自治体とともに考えたい。
- ・車を利用する人もどう利用してもらえるか考えていきたい。
- ・自分の意識改革。移動は増やせる、楽しみは増やせるという意識。
- ・車は必要だが、1 回でも多く利用すること。

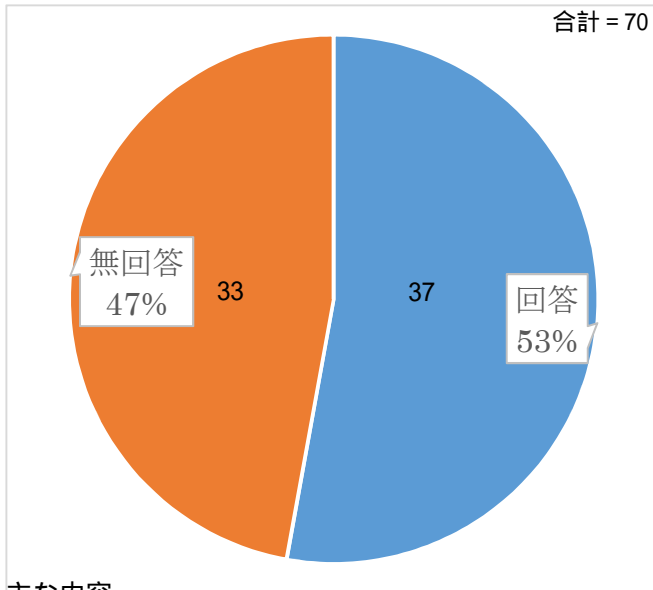
【質問4】 シンポジウムに参加して公共交通に対する考え方が変わりましたか。



主な内容

- ・「人口が減少しても、移動は魅力を増やせる」魅力があれば人は動くということがよく分かった。
- ・「人口が減少しても、移動は魅力を増やせる」魅力があれば人は動くということがよく分かった。公共交通に対する重要性が高まった。民間運営では成り立たないため、いかに公費を注入するか、目的をもって関わるかが大切かと再認識した。
- ・通学以外でも公共交通を利用したいと思った。また、公共交通利用を周囲に認知してもらいたいと思った。
- ・公共交通の利便性を高めることに様々な効果が発生することが非常に興味深かった。
- ・自分に合わせてしか利用できないと思っていたが、生活に合わせて利用の仕方が作れるものと。

【質問5】 シンポジウムの感想を教えてください。



主な内容

- ・ 首長の決断、市民の意識変化で地域の可能性はまだまだあるんだなと思った。
- ・ 公共交通はもっと皆で考えることが必要と思う。
- ・ 公共交通に力を入れない街づくりは地域の未来が危ないと感じた。乗って残せる仕組みを作っていただきたい。
- ・ コミュニティバスの案内は単独で調べないと分からない。スマホが便利なこの時代、年寄りもローカルな地域も簡単な道案内がしてもらえたら良いのに。
- ・ シンポの内容は大変共感するものがあつた。この内容をいかに多くの人に伝えるかが重要だ。国、県及び市の政策に期待する。